

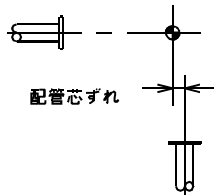
免震サプレックス施工要領書（キャスターCシステム）

「設置場所と納入品に相違無いことをご確認ください」
 「配管高さをご確認ください」
 「取付、支持方式を図面でご確認ください」

注意点

1. 建物側、地盤側の固定架台を取り付けて下さい。
2. 配管を固定架台に取り付けし、取付面間、芯間寸法が設計寸法どおりか確認下さい。

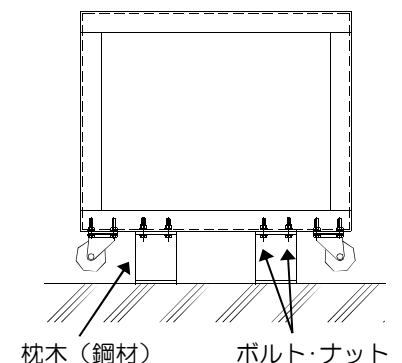
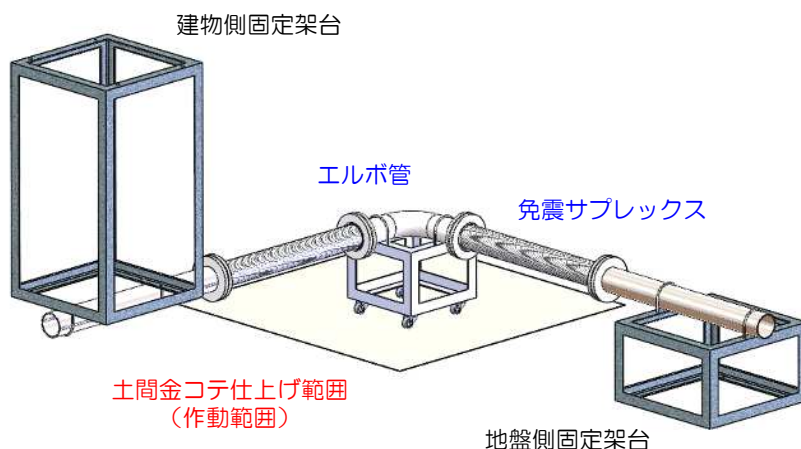
	許容芯ずれ
キャスターCシステム	ゴムフレキ ±50mm
	SUSフレキ ±25mm



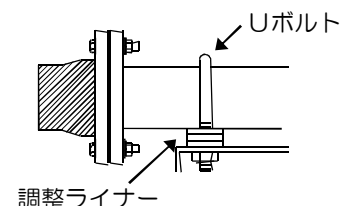
3. 床面の土間コンクリートを、著しい凹凸の無きように仕上げして下さい。仕上げは一般的な金ゴテ仕上げで十分です。著しく荒れている場合には、SUS板などを敷いて下さい。
4. 大型キャスター架台は輸送時のキャスター損傷防止のため、ボルト・ナットにて枕木（鋼材）を組み付けています。使用時には枕木を取り外して下さい。（下図参照）
5. キャスター架台上にエルボ管を配置し、Uボルトで仮止めして下さい。
6. 配管と継手、エルボ管を取り付けて下さい。
SUSフレキの場合は必ずSUSフレキ付属のパッキンを使用下さい。
7. 前後の配管とのレベルを確認し、必要に応じて付属の高さ調整用ライナーを使用してレベルを調整して下さい。
8. エルボ管固定用のUボルトをしっかりと締めて固定して下さい。

- ・ 固定架台は出来るだけ免震継手の直近に設置願います
- ・ 左表の誤差範囲内に収まるように配管の施工、芯出をお願いします。
- ・ 接続配管はSGPまたは継手の反力値に応じた強度を有する材料を使用下さい。
- ・ 金ゴテ仕上げ範囲は図面でご確認ください。
- ・ 枕木は鉄くずとして、お客様にて処分して下さい。※枕木の有無は仕様によって異なります。
- ・ 付属品以外のパッキンを使用すると漏れの原因になることがあります。
- ・ ボルトの頭を継手側にして均等に締め付けて下さい。
- ・ 排水管の場合は勾配を確認下さい。

施工例



枕木部詳細
 (枕木は必ず取り外して下さい)



高さ調整部詳細
 (必要に応じてライナーを使用下さい)

注意事項

◎フレキ本体に打痕、傷入りなど起こらぬ様に注意して取り扱い下さい。